水戸市立大場小学校　学校だより
令和２年度　第３１号　2021.2.12

おおばっこ

あいさつと笑顔がいっぱい大場っ子
未来につなげ　大場の絆

E-mail　510131@sch.ibk.ed.jp
Tel　029-269-2103　Fax 029-269-2159

「おはようございます」で始まるすてきな一日

登校指導をしていると，「おはようございます！」の爽やかなあいさつを受けることが増えました。道路の向こうからも，背後からも声がかかり，お互いが自然に笑顔になります。掃き掃除をしながら児童を迎える職員も，「張り合いが出ますね」と顔をほころばせます。あいさつは，人の心を明るく和やかにする「魔法の言葉」だなと改めて思わされます。

「あいさつの木」の取組を，ご家庭で話題にされたお子さんもいるようです。この「輪」がどんどん広がりますように，と願いながら，子供たちのすてきなあいさつに心を込めて応じます。気持ちのよい一日をスタートさせてもらっていることに感謝しながら・・・。

緊急事態宣言の延長と　子供たちの「心」

茨城県は，７日までとしてきた県独自の緊急事態宣言を28日まで延長すると発表しました。これを踏まえ水戸市も，引き続き市民に不要不急の外出を控えるようお願いをしています。

感染症の流行は，人々の健康や暮らしに様々な変化をもたらし，学校生活も大きな影響を受けています。これらの対応は，私たちの健康を守るため，感染症の拡大を抑えるために考えられたもので，みんなで取り組むことが大切です。

一方で気になるのが子供たちの「心」です。仲間と過ごす時間が減ったり，目標としていたものが急になくなって，がっかりしたり，悲しくなったり，やり場のないイライラを抱えたり，あきらめたりなど，いろいろな思いをもって，こうした生活に向き合っていることでしょう。

学校は，子供たちにとって「安全」であると同時に「安心」な場所でなければならないと考えています。そこで日々の教育活動の中で，感染症について，正しく理解できるよう，発達段階に応じた具体的で分かりやすい保健指導を心がけています。またスクールカウンセラーとも連携し，子供の不安に寄り添い教育相談を継続的に実施しています。全校朝会等の機会には，養護教諭や人権教育担当等による講話(放送)を行っています。これまでに「正しく恐がること」「体調が悪くなった人への思いやり」「言葉のこわさ」「前向きな考え方」等を話題に取り上げてきました。職員自身も，差別を生まないために研修を重ねています。

もし，**お子さんの心の中にモヤモヤした思いや悩みがあるようなときには，一人であるいはご家庭の中だけで抱え込まずにご相談ください。担任や養護教諭，カウンセラーなど，みんなで共に考えたいと思います。**

子供に付けたい力

３年生以上を対象に，４教科の学力定着度調査を実施しました。十分でなかったところについては補充学習を行っています。

点数にのみ着目するのではなく，何ができて何が不十分なのかを知ることが大切です。そして，自分で計画を立てて勉強することで，実力を伸ばすことができます。

「自主学習ノート」に積極的に取り組んでいる学年があります。与えられる宿題ばかりではなく，一人一人の興味関心や力に応じた主体的な学習が，これからの変化の激しい社会を生き抜く子供を育てます。

K-1（かむわん）グランプリ

学校保健安全委員会が，コロナ禍での健康教育推進として「K－1(かむわん)グランプリ」(10月～12月)を開催してくださいました。健康，歯科保健，食の観点から「よくかんで食べる」をテーマとして，家庭での取組を募集したところ，すばらしいチャレンジが報告されたとのことです。「親子で作った料理のレシピ」や，「夕食で咀嚼した回数」等が，保健だより増刊号(今月下旬発行予定)に掲載されるそうです。併せて栄養教諭や学校歯科医等，専門家のコメントも掲載になるそうですので，是非ご覧ください。

委員の皆様，取組にご協力くださった皆様，ありがとうございました。

児童会主催の「いじめゼロフォーラム」で，子供たちが話し合って作ったスローガン

いじめはね　やめるじゃなくて　始めない　笑顔たくさん 大場小